

## 重点的に取り組むこと

低炭素型建築物への誘導(断熱性能、パッシブ建築)

エコ商店街育みプロジェクト

再生可能エネルギー導入スタイルの発信

市民出資等、多様な主体の協同による再生可能エネルギーの導入

共同生活によるエコな生活の発信

低炭素ライフスタイルの普及

商店街と連携した高効率機器への買い換え促進

市内建築士向け省エネセミナー実施

低炭素設備導入支援

低炭素設備導入補助事例のモニタリングおよび事例発信

次世代まちづくりをモデル的ライフスタイルとして発信

市民

①環境にやさしいライフスタイルが普及しているまち

②多様なくらし・なりわいができるまち

～再生可能エネルギー導入、熱の活用～

里地・里山にふれる機会の創出

環境・エネルギー教育の推進

⑤環境意識が次世代へ継承されるまち

～環境・エネルギー教育の推進～

# 次代の低炭素社会へあゆむまち 茨木

③人にも環境にもやさしく移動ができるまち

事業者

市

④環境負荷が小さいまちづくりが進んでいるまち

コミュニティサイクルの普及促進

EV・PHV等の率先導入・普及促進

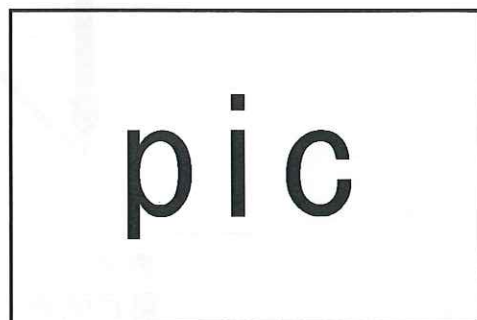
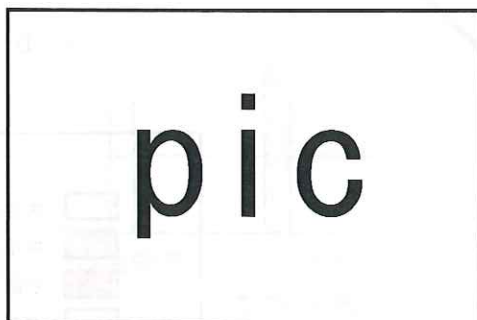
チームエコ通勤設立

教習所と連携したエコドライブ促進

低炭素型まちづくりへの誘導



電気自動車の展示の様子



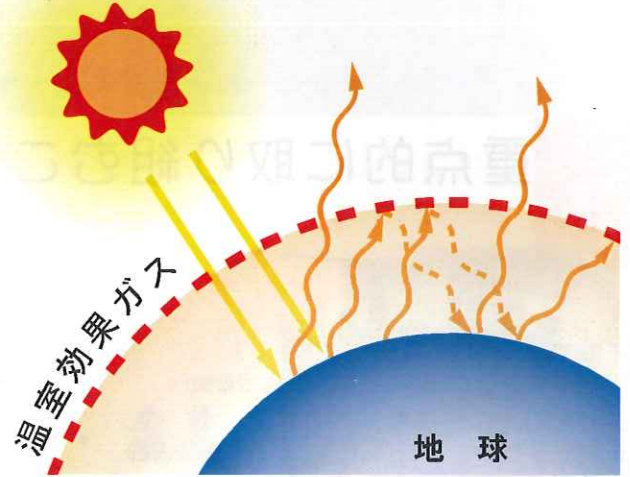
# 地球温暖化とは？

## ●地球温暖化の現状

近年、化石燃料の使用等といった人類の活動によって二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出され、大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

京都議定書において、日本は第一約束期間（2008（平成20）年～2012（平成24）年）に基準年から6%の削減を約束していますが、2008年度の温室効果ガス排出量は12億8,200万トンであり、1990（平成2）年からは1.6%増となっています。

図 温室効果のメカニズム



### もっと知りたい！

環境政策課では、パネル・書籍・ビデオを市民の皆様に貸し出しております。

- ・「まんが版環境基本計画 ドラえもん のび太の地球を救え」 環境庁 企画調整局
- ・「沈黙の春」 レイチェル・カーソン
- ・地球を守る アースレンジャー

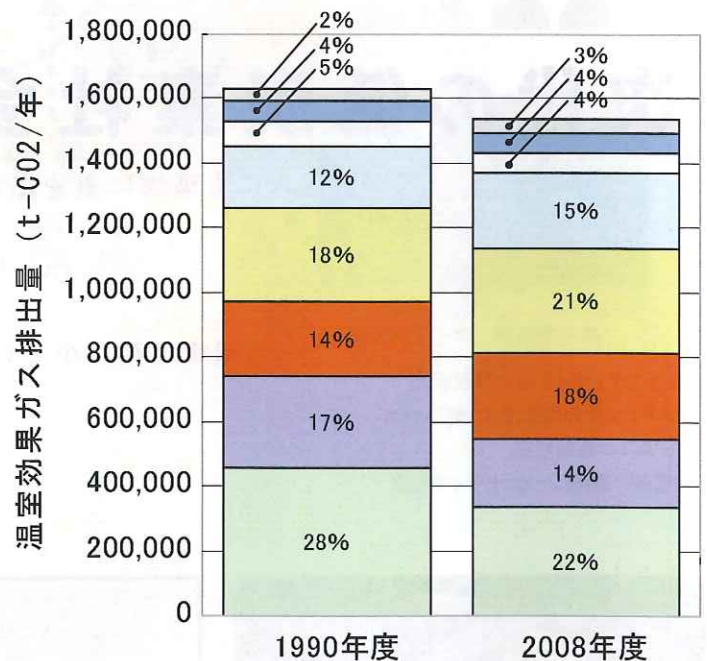
# 茨木市の現状は？

## ●茨木市の温室効果ガス排出量

1990（平成2）年度から2008（平成20）年度の間、総量では約6%の減少、1人あたり排出量では約13%の減少でした。割合としては、事業活動に関わる部門である産業部門・民生業務部門・運輸部門（自動車貨物）の3部門で7割弱を占めますが、産業部門及び運輸部門（自動車貨物）では減少しました。1人あたり排出量が大きく減少した要因として、これら2部門の影響が考えられます。

一方、市民生活に関わる部門である民生家庭部門・運輸部門（自動車旅客）では増加しました。

図 各部門層排出量の動向



- |       |           |
|-------|-----------|
| 大きい工場 | 事業所から出るごみ |
| 中小の工場 | 家庭から出るごみ  |
| 家庭    | 車での物の移動   |
| 事業所   | 車での人の移動   |



# どんな目標？

## ●茨木市の目標設定

中期目標については、本市の現状を見据え達成可能なレベルの数値目標設定に加え、長期的な大幅削減に繋がるよう『プロセス目標』を設定します。

なお、『プロセス目標』は、下記の視点をもとに、各主体の意見を反映させながら、今後、計画推進の中で設定していきます。

### プロセス目標の視点

- ・大幅削減に繋がるようなモデル（「ゼロエミッション住宅を販売する工務店の出現」等）
- ・極端な我慢等の特異なものではなく、普及可能なもの
- ・極端な技術革新を要するものではなく、既存技術の改善の延長線上で可能なもの

○基準年：1990（平成2）年度

○中期目標（2020（平成32）年度）：市民1人あたり排出量1990年度比-20%  
+2050（平成62）年度大幅削減に繋がる取組の萌芽（プロセス目標）

○長期目標（2050年度）：市民1人あたり排出量1990年度比-70%

図 プロセス目標の住宅モデル例

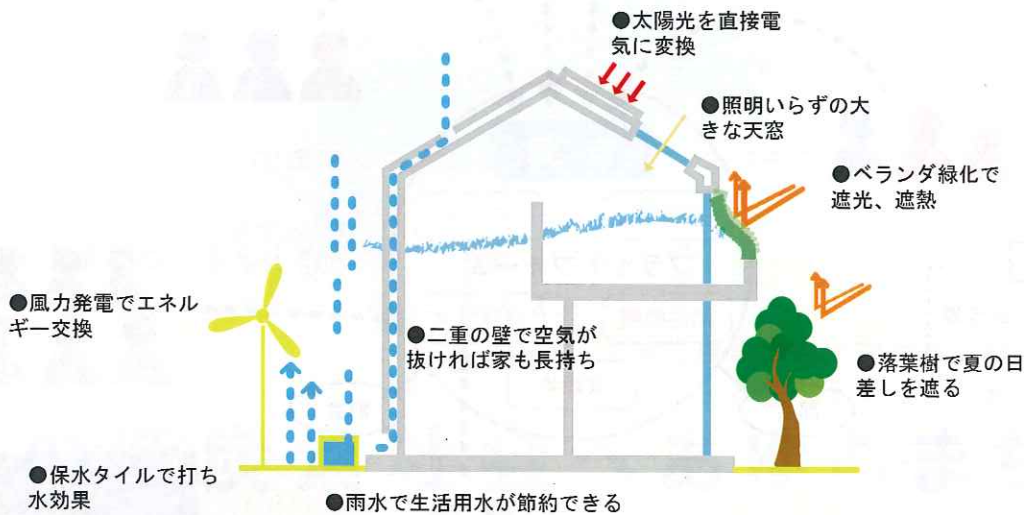
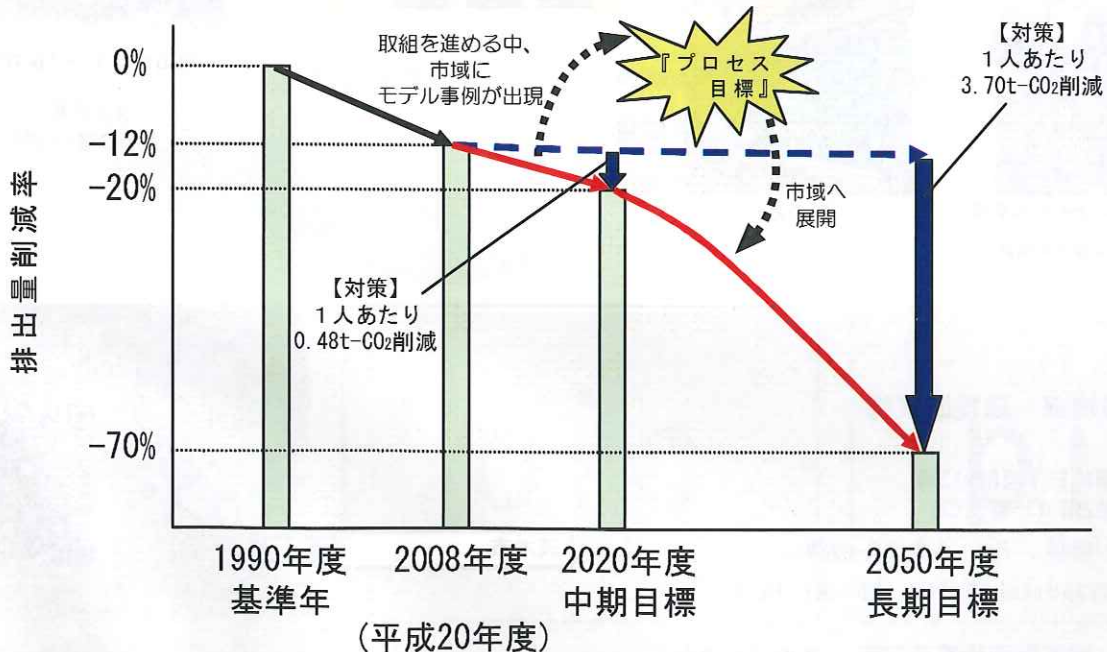


図 目標設定の概略



# どのよつに進めるの？

## ●推進のための仕組み ～市民・事業者との連携体制～

下記の体勢により、本計画を、市民、事業者、市が連携しながら推進していきます。

図 推進委員会・プラットフォーム等組織イメージ



プラットフォームとは？  
・複数の人が集まって話し合う場

子どもエコクラブの様子

里山センター（森の学び舎）

彩都地域でのコミュニティサイクル事業  
(出典：彩都低炭素タウン推進協議会)

緑のカーテン

### 発行・問い合わせ

#### ■茨木市産業環境部 環境政策課

〒567-8505  
大阪府茨木市駅前三丁目8番13号  
茨木市役所本館2階（15番窓口）

電話：072-620-1644 Fax：072-627-0289

E-mail：kankyoseisaku@city.ibaraki.lg.jp

茨木市  検索



■編集協力：(株)地域計画建築研究所（アルパック）